



かさはら
あつし
笠原 篤さん
パネリスト

北海道工業大学教授
札幌市雪対策推進研
究委員などを歴任

札幌は将来にわたって雪が降り続けるま
ちです。目の前の問題だけでなく、抜本的
に考えていかなければなりません。行政と
市民それぞれの役割を明確にして、除雪だ
けでなく、身近な雪たい積場の確保や雪エ
ネルギーの利用、室内の温度設定など、生
活全般にわたる雪国のルールをつくること
が必要になると思います。

市長

大人が冬や雪を楽しむことで、子ど
もその楽しみ方を理解し、学ぶとい
うことをやっていくことは大切ですね。

手稲山雪の祭典は、区民の雪に親しむ冬
の一大イベントとして、手稲区のシンボル
である雄大な手稲山を会場に実施していま
す。主に子ども向けの種目を行い、多くの
区民が参加しています。
今後のあり方についてですが、雪と共存
し、楽しく快適に過ごすとともに、さらな
る区民の幅広い参加を目指して、健康で楽
しい雪の祭典を継続していきたいと考えて
います。



ひぐち
てつお
樋口 哲雄さん

手稲山雪の祭典
実施委員会会長

市長

学生の自由な発想や行動力をまちづ
くりの火種にできれば、とてもうれし
いですね。

北海道工業大学では、夏頃に部活動の人
たちがごみ拾いなどをしています。冬に
も通学路の歩道などの除雪や砂まきをし
たいのではないかと考えています。
手稲区に多く住む大学生の除雪の役割は
どのようなことかも考えています。



—札幌生まれのデザインを世界に発信—

「アボネット」 ファッション性と機能性
を兼ね備えた保護帽

ファッションは冬のライフスタイルを考える上
で欠かせない大きな要素です。
会場では、札幌スタイル(*)第1回認証製品
「アボネット」を展示し、ご紹介させていただきました。「アボネット」は、横断歩道などの凍
った路面で転んだときに頭を保護する帽子で、
ファッション性の高い保護帽としてデザインさ
れたものです。

*「札幌スタイル」は、北の風土を暮らしの中
に活かしながら、生活や気持ちをもっと豊かに
する、楽しさ、温かさ、面白さ、新しさ、美し
さ、そんなスタイルを持ったデザインを応援し
ています。



おおくほ まゆみ
大久保 真弓さん (コーディネーター)

市民の皆さんと行政がアイデアを出し合い、
皆さんの活動を行政が支援していくというス
タイルは、これから絶対に必要になってくる
と思います。

市長

あるものを活用して新しい価値を生
み出す工夫が、ほかのいろいろなとこ
ろでもできればいいなと思います。

冬の公園をもっと利用していただきたい
と思います。パークゴルフを冬にできないかと
考えました。これは今年一月から始めまし
たが、すでに数千人の方に楽しんでいただ
きました。簡単なコースですので、実際に
皆さんにも楽しんでもらえればと思います。
今後は、パークゴルフや歩くスキーだけ
でなく、他の事業も検討し、雪に負けない
公園というもので市民生活に役立てたい
なと思います。



あらい
たけまさ
東 剛正さん

前田森林公園管理事務
所所長
昨冬から雪上パークゴ
ルフを企画し運営